

2011年度

科目名	宗教学A				
担当教員	貫名 讓				
配当	人間1		コード	53001	
開期	前期	講時	金曜日3限	単位数	2
授業テーマ	宗教と仏教の基礎的理解				
目的と概要	本学は、「大乘仏教の精神と、真宗の宗祖・親鸞聖人の御教え」を理念として建てられた大学です。その理念を具現化するのが、宗派・情操教育の一環として行われる「お花まつり・報恩講」などの宗教行事と、宗教学という学問的体系として展開される「宗教学」（講義）です。どちらも慈悲の精神（相手を思いやる心）の重要性と、大乘仏教の真髓を究極のレベルにまで高められた親鸞聖人の人生観を通して、人としての心を学ぶ場です。 そこで、「宗教学A」の講義では、まず宗教を社会現象の一つとして捉え、構造を学ぶことによって、宗教が持つ特性を考えていきます。これからの人生において何らかの宗教と関わりを持った場合に、その本質を見極める能力を育成するものです。次に本学の「建学の精神（理念）」に関わる大乘仏教の教えと、釈尊（ゴータマ・ブッダ）の生涯と思想をみていきます。				
成績評価法	総合評価（平常点・試験）				
テキスト	経験論の宗教学／荻野勝行・貫名讓共著／杉山書店				
参考書					
履修に当たっての注意・助言／準備学習	特定の宗派教育を行うものではありません。仏教思想をうかがいながら、これからの生き方・ものの考え方を模索・探究していくきっかけにして欲しいと思います。また、日本の「伝統」の中で培われてきた心の美に、宗教との関わりを見つけてみてください。				
講義計画					
1. オリエンテーション：講義の概略と進め方 2. 宗教の類型、宗教的行為と宗教 3. 宗教と死生観 4. 科学と宗教 5. 釈尊の生涯とその思想① 誕生・出家にまつわるエピソードが意味するもの 6. 釈尊の生涯とその思想② 苦しい修行と悟り 7. 釈尊の生涯とその思想③ 仏教の基本的な教え 8. 釈尊の生涯とその思想④ 涅槃に入る 9. 経典の始まりと教団の分裂 10. 大乘仏教の興隆 11. 大乘仏教の教え 12. 浄土教 13. 阿弥陀仏とは？ 14. まとめ 15. 試験					